

平成29年度草津市地区環境情報交換会

- ・日 時： 平成30年2月21日（水）
- ・場 所： 草津市アミカホール
- ・参加者： 参加者名簿の通り

1. 主催者 湖南・甲賀環境協会 堀田副会長より挨拶



2. 滋賀県からの情報提供

- ①工場・事業場の立入調査の状況等について
- ②PRTR届出情報から見る滋賀県南部地域の環境について



滋賀県南部環境事務所 瀧野主幹
中島主査

- ・ PRTR 届出情報からは、南部地域における化学物質の排出量の特徴や、経年変化について大気への化学物質排出量の割合、および排出量の削減傾向について説明があり、企業活動によって、有害な化学物質排出削減努力が、大気環境の改善に寄与している可能性が高い事が理解できた。

3. 草津市情報提供

- ①環境行政の動向
- ②事業所に関する公害苦情の状況とその対応
- ③届出漏れや届出の不備について
- ④市独自の環境保全の取組みについて



草津市役所 環境課 小川課長
西谷副参事
榎本主査

- ・草津市からは市独自の環境保全の取組について、草津エコフォーラム、くさつエココンテスト等企業の環境活動から、未来を見つめるための情報満載のフォーラム開催状況等説明があった。



- ・参加者から PRTR 届出情報から、自社の取扱い化学物質の量や削減状況が把握できたり、また自社の取組を県内の状況や全国の状況と照らし合わせて評価することができ、非常に良いデータベースとなる等の評価があった。

【主な質問事項】

- ・構内に入出入りする車両からの少量の油漏れ事故について、何か良い対策や過去実施したことがある対応策について何かございましたら教えて頂きたいです。
- ・事業所内で草刈り下草や、樹木剪定・葉刈りした枝葉の処分について各社どの様にされていますか！
- ・水銀使用製品産業廃棄物について、割れた蛍光灯の取り扱い
- ・条例の施行・改正の確認方法について
- ・水銀廃棄物の管理が厳しくなりましたが、最新の情報や指導の状況等いかがでしょうか。
- ・弊社で廃棄物となるものが、他社様では廃棄物にならない可能性があるかと思えます。廃棄物を削減していくにあたり、協会の皆様に情報共有し、価値のあるものに変えていけるような活動が出来ると、廃棄物の削減がより一層進んでいくのではないかと考えています。
- ・会員各社様環境活動を推進されるにあたり、どの様な組織体制で臨まれているのか？
またその組織を構成する人員や規模、活動のサイクル、職務従事者（担当者）に求めるスキル、そのスキルの維持向上を図る為の仕組みなどについて。

ご参加頂きました皆様（敬称略）

No.	行政名	参加者所属	参加者ご氏名
1	滋賀県南部環境事務所	主幹	瀧野 昭彦
2	滋賀県南部環境事務所	主査	中島 有希子
3	草津市役所 環境課	課長	小川 晃
4	草津市役所 環境課	副参事	西谷 博子
5	草津市役所 環境課	主査	榎本 実

No.	会員企業名	出席者所属	ご氏名
1	ダイキン工業株式会社 滋賀製作所	湖南・甲賀環境協会 副会長	堀田 豊嘉
2	ダイキン工業株式会社 滋賀製作所	滋賀製造部	山下 貴弘
3	ニチコン草津株式会社	管理部 参事	福嶋 正雄
4	エキセルリム株式会社	品質環境部	伊藤 弘樹
5	オムロン株式会社	渉外担当	光岡 公宏
6	川重冷熱工業株式会社	企画室総務人事部	服部 暁宏
7	キャノンマシナリー株式会社	経営管理本部 安全施 設課課長	牛場 良和
8	サンスター技研株式会社	生産管理グループ 安全環境担当	奥野 美紀
9	株式会社ジーエス・ユアサテクノロジー	事業管理部 総務グループ	竹内 知己
10	ダイキンレクザムエレクトロニクス株式会社	設計部	江平 伸次
11	ダイキンパイピング株式会社	品質管理	濱親 勝哉
12	株式会社西日本技術コンサルタント	環境分析部 分析1課	高野 通明
13	パナソニック株式会社アプライアンス社	総務部 施設・環境保 全課	中川 智
14	パナソニック株式会社アプライアンス社	総務部 施設・環境保 全課	高野 隆司
15	平岡織染株式会社滋賀ターボリン工場	製造管理課課長	馬場 彰
16	株式会社メタルアート	管理統括室	川戸 洋一

No.	協会スタッフ	会員企業名	ご氏名
1	湖南・甲賀環境協会 副会長	TOTO株式会社	井上 繁樹
2	湖南・甲賀環境協会 顧問		中村 満
3	NPOびわ湖環境 理事長		森 毅
4	NPOびわ湖環境 事務局長		佐野 由明
5	NPOびわ湖環境 理事		芝本 伊三男
6	湖南・甲賀環境協会 事務局長		渡部 薫
7	湖南・甲賀環境協会 事務局		伊賀 美乃里